

浜松市、一般会計2952億円

16年度予算案 2年連続で最大

浜松市は十二日、一般会計を総額二千九百五十二億円(前年度当初比三億円、0.1%増)とする二〇一六年度予算案を発表した。投資的経費は前年度を下回った一方、小規模保育や事業所内保育施設の増加などで扶助費が増大し、予算規模は二年連続で最大となった。鈴木康友市長は、大河ドラマ関連や産業促進など新規のソフト事業に重点を置いたと説明した。▶関連①⑥面

原田橋の新橋建設や三遠南信自動車道の整備などの道路・河川関連事業には百八十八億九千三百万円、公共建築物長寿命化や防潮堤土砂確保などの防災・減災関連事業には八十五億九千三百万円を盛り込んだ。浜北区役所移転整備事業には三億九千七百万円、野球場整備事業には用地測量や物件調査費として二千七百万円を盛り込んだ。大河ドラマ「おんな城主 直虎」関連は、一月補正と合わせて五億三千三百万円を盛り込んだ。市税収入は、税率の引き下げで法人市民税は下がる一方、個人市民税と固定資産税の伸びで0.4%増の千二百八十五億円を見込んだ。総市債残高は、一六年度末で四千八百二十四億円の見込み。元金償還から借り入れを引いた基礎的財政収支(プライマリーバランス)は百二十九億円の黒字だったが、西遠流域下水道

2016年度浜松市予算案・会計別

一般会計	2952億円(0.1%増)
特別会計	2175億円(1.1%増)
企業会計	731億1100万円(14.1%増)
総額	5858億1200万円(2.0%増)

※100万円未満は切り捨て。かつこ内は前年度当初比。

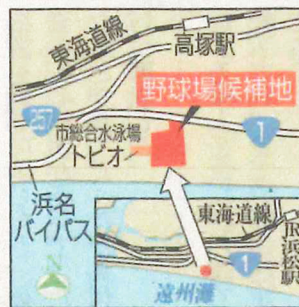
新生活応援セル

の移管に伴う市債残高百十六億円を県から引き継いだため、総市債残高は一五年度末見込みからは十三億円減に留まった。十五特別会計と三企業会計を合わせた全会計の総額

野球場建設費「知事と合意」

浜松市長 県議会異論をけん制

浜松市西区の遠州灘沿岸で建設構想が進む防災機能を備えた野球場について、鈴木康友市長は十二日開いた二〇一六年度予算案発表の記者会見で、「建物は県にお願いすることで知事と合意している」と述べた。市



野球場は市総合水泳場トピオ(西区篠原町)の東側で、市が約九割を取得する。県は新年度予算案に基本計画策定費を計上する方針だが、県議会側から建設費も浜松市が負担すべきだとの意見がある。同市は一

九八七年から公園整備の支援を県に要望しており、鈴木市長は「実現に向けての動きが始まった。しっかりと準備していきたい」と強調した。

市は新野球場完成後、中区の市営球場に国際大会が開ける第1種陸上競技場を整備し、隣接する既存の陸上競技場をサブグラウンドにすることも考えている。鈴木市長は「野球場とトータルで、スポーツ推進の大きな力になると期待している」と述べた。

は、五千八百五十八億二千二百万円(同百十六億二千二万円、2%増)になった。二月定例会に提案する。